

# 逍遙館長のところ

## 「西郷隆盛・魂の旅路、のころ」

2月15日 逍遙<sup>①</sup>

皆さん方を黎明館の「入口」までご案内しているこの「逍遙館長のところ」がスタートした昨年9月の初回では、「西郷隆盛・抵抗の精神と9月のころ」と題して、日本最後の内戦と言われる西南戦争を戦い抜き、それでも敗色が濃くなって行く中で、9月に鹿児島に帰り着き、そして城山で自らの生涯を用じた、あの西郷隆盛を取り上げさせていただきました。

9月という「時の偶然」もさることながら、やはり「西郷」という存在には、何かしら人を惹きつけてやまない奥深い魅力と、思想的な洞察力、そして人生における精神的な座標軸のようなもの、を私は強く感じます。

今日2月15日は、西郷軍（第一陣）が熊本を目指して鹿児島を出発した日（西郷本人はその2日後の2月17日、大雪の中を出発）にあたります。

様々な既存の価値観が大転換しつつある現代にあって、この時の西郷の行動は、今の私たちに何を教えてくれるのでしょうか？「西郷」という魂の旅路は、今もなお現代の中で、途絶えることなく続いているのかもしれませんが。

◎ 次回の予定 「先人たちの思いを語りかける 県史料、のころ」

